

[illegible]

死藏投資力

暴露されたロシアの内情

宣傳と威嚇政策

閻魔廳グラヴリツト

いふことである。これにつて近代評判記(1) 長風山人

寺内大将と
野田大塊

寺内大将が野田大塊、この二人を半年に亘り人の面前に露呈した時、吾人は世に於ける一極端新立の人物と目撃せたる當時の眼聞さるる事を知るのである。

寺内大将が過譽して在った七年の間は、軍國強盛であつた。彼強盛の朝鮮を征服し、龍驤の巨手を伸ばせしめ、威嚇せる民族を叱咤し、雄略する國土を建樹し、兎にもまた、寺内式家統の上へ上立たしめた。

に引くことが出来る。これに對するに引くことが出来る。

道された

これ正即ち寺内大将を見光景である。彼は公格に立つや、唇舌振舞、驚駭を以て人に驚かしながら、その私的に於けるには緩々たる好であつた。その邊境を温順、この組なると思ふ。その懇切を極め交友誼、寺内大将の門より彼の至親を見れば、知らずこの第六八條に喜ぶかを知るのである。

寺内大将がその總督院隨に立つて驕傲的に軍法的規律、操縱を緊要と停止を呼びかけつつある傍に於て、厭れる如き見覺、様式、顔貌

海前に闖の花魁掃き、虎の顔を罵し、靴穿りと大義と氣後解とを以て寺内軍國の総と料理を助けたことは、寺内大將の精悍丹誠の力であつたであらう。

寺内大将が日軍連通裝束袴袈裟を見て其壯大々々及良辰夜會の宴を饗し、と雖も大義を識し、寺小僧襲衣の必要を説諭し已まず、佛主としての應座在外より來ること光榮を得て寺内蔵されてがその先生たるといふことを續行されてこの初平年癸巳を掃した。大塊先生と寺内大將との關係は大體かくの如きものであつた。重臣と軍士と田舎者と野郎と人、總督第一時代にて當事となつた二つの巨匠は則ちそれである。

新刊紹介

馬越恭平翁傳

馬越恭平翁傳記編纂會

四^よを説き、何れの事業に
四氣が必要であると強調し
大^{おほ}身體の養生、心の養生、
養生を力説して、「心配す
を以て朝鮮に旅し、観くその事
を見、熱と元氣と誠實とを如實
日本航空機送等何れも象の機體

「一なり」と訓へ、「眞仰心せよ」と説いた。翁は腕一本書一巻は翁の傳記としてその

の偉大なる業績を成し遂げた。一貫到底の生涯を送つた生の波瀾曲折は活動的人物としての一大教訓であり、優柔ならぬ。(東京市墨堤七ノ一大

人間にとりては一大盛會で
機を見ること明か、事を處
當つて果斷、しかも一面に

本麥酒會社内馬越翁傳記編輯會
行、非賣品

金三上平刀能

重直上昇可能
の新飛行機
組賣のポール・マイワーム氏は

地すべき人術とを以て豪岩翁
 七塚風雅の土の面目を遺憾な
 へした。本書一巻はよく翁の
 行機酬應の四飽即ち車ならば、
 輪の存する處に四個の魚形水密
 の渦巻車を置き、之をロケット
 タービンによつて急激にせしむ

と、ビールの栓抜きを螺旋がコ
クの中にめり込む様に空気を吸
分けて、推進力を得ると云ふ

で、其の禮着の角度は任意に据
者席からかへられるので、直上
平思ふ様に行ふといふ變つた

て有ると云ふが、此の流弊排外
一個を付けたものの實証から今
のものを設計したとの事で實証
に取つかると云はれて居る

當選御禮

今般安東邑會議員選舉に當り幸に當選の榮
 を得候事全く有權者各位の深甚なる御同僚
 の賜と衷心より感謝に不堪茲に不取敢以紙
 上御厚禮申述候

昭和五年五月十二日

敬具

不肖等

林尹權權權趙佐徐權大武張
 田重
 重
 男
 衡
 鍾
 烈
 魯
 郎
 老
 董
 郎
 吉
 變

井利三
 富奎辰

々木琢次
 丙極泰重五世
 重

馬山府會議員當選御禮

富渡西清加松本上平高五常山西黃高李曹金金

邊野水藤本田津十山下
和野水藤本田津十山下
武儀泰一多一友眞
雅一儀多一友眞

大郎一郎民郎一郎藏郎一郎榮保鄉泰市郎周郎唐加雨煥甲義

當選御禮

今般年當選御禮に當り幸に當選の榮を同僚事は全く有難者各位の幸甚なる御同僚の賜と衷より感謝にて茲に不敢敬以紙上謹申敬候

眞具

横田 虎之助

内田 録雄

平環府
會議員

當選御禮

金 鶴 瑞

當選御禮

今回福山面々議員改選に際し立候補候儀慶幸に當選の榮を得たるは畢竟有難者各位の御同僚の賜と深く奉感謝略議ながら紙上に以て厚御禮申述候

敬白

五月十四日

林田 上久義
 裴朴 田逸
 李富 岡定辰
 李橫 田德一
 松藤 本永忠

平澤面協議員當選御禮


李朴 成敏
 西村 炳太
 黃慶 折太
 鄭容 鍾賢
 安森 周賢
 目森 賢

列恒 鄭南 委運 林吉 廣吉 漢

治男 來煥 仁吉 善郎 李榮 次

[illegible]

<p>運船</p> <p>來函 五月廿八日 六月六日</p> <p>門司より、阪神行の客船多数あり 詳細は左記（組合せを下さ） （案内通達也）</p> <p>京坂商船門司通三日一〇大 東京火災二日四開 大阪商船株式會社 京城出張所 電話局長 1816 番</p>	<p>野内代理店・兼内所</p> <p>總務課 國際運輸會社</p> <p>片慶田組 釜山 釜山商船組 シヤンパツリスビニエーリ 第三中井、安東大和井 家内所</p>	<p>阿波共同汽船連行出帆</p> <p>威海衛・芝罘・大連行</p> <p>利通號</p> <p>五月廿一日 早船 時入港 五月廿三日前 時出港</p>	<p>權共同丸</p> <p>威海衛・芝罘・大連行</p> <p>五月廿四日 早船 時入港 五月廿六日前 時出港</p>	<p>長山丸</p> <p>鎮南浦・大連・天津行</p>
--	---	--	---	-------------------------------------



●頭脳過勞者の必携薬！ノーション●

トリス紅茶

セイロン種・國産

茶樹の枝端に萌え出る若葉
それで造つたトリスです
全く おいしいトリスです

●名店● 京都
●阪神● 玉露丸
●阪神● 五洲丸
●阪神● 日泰丸
●阪神● 日興丸
●阪神● 百福丸
●名店● 大連丸

五月廿七日午後 勝人海
五月廿八日午前 勝人海
五月廿八日午後 ニテ乗客並ニ
運客切符發賣所 京坂三越本店内
案内パンフレットビネーロー
仁川埠頭町四
代理店 野口商會
電話 一四番・二七番

仁川出帆豫定

●名店● 京都
●阪神● 玉露丸
●阪神● 五洲丸
●阪神● 日泰丸
●阪神● 日興丸
●阪神● 百福丸
●名店● 大連丸

五月十一日
五月十二日
五月十三日
五月十四日
五月十五日
五月十六日
五月十七日
五月十八日
五月十九日
五月二十日
五月二十一日
五月二十二日

剃刀で研器を兼ね
一枚の刃が半年使へる

バレー自働研安全剃刀

¥1.50
以下

全圖刻る處にあります



徴兵検査に美談

受検した輸城隊員
質父の要を秘し

【東京二十一日電】昨午、東京市立第一高等中学校の徴兵検査に、輸城隊員として受検した者がある。その父は、戦死したとされているが、実は生きており、検査に合格した。この話は、周囲の人々を驚かせた。

消えた白骨を種に

三千圓の脅迫状

墳墓を繞る七十年の争ひ

兩豪族の怪奇物語

【東京二十一日電】昨午、東京市立第一高等中学校の徴兵検査に、輸城隊員として受検した者がある。その父は、戦死したとされているが、実は生きており、検査に合格した。この話は、周囲の人々を驚かせた。

平南號の献納

在滿同胞からも十台を造成

愛國飛機運動の頭領文氏談

【東京二十一日電】平南號の献納について、在滿同胞からも十台を造成した。愛國飛機運動の頭領文氏は、この献納について、非常に喜んでいると述べている。



北鮮時代の
立役者
威南を訪る
有力者
威南を訪る
有力者

男の意氣地から

兇刃血ぬらる

夏の夜の興南に惨劇一幕

口と酒は禍ひの因

【東京二十一日電】夏の夜の興南に、惨劇一幕が展開した。男の意氣地から、兇刃が血をぬらした。この事件は、口と酒が禍ひの因となった。



新装の威興醫院

二十五日落成式

【東京二十一日電】新装の威興醫院が、二十五日に落成式を行った。この病院は、最新の設備を備え、患者の健康を第一とされている。

天草丸よさらば

思ひ出の多い浦瀬航路を

新造サイベリア丸に譲り

小樽樺太航路へ

【東京二十一日電】天草丸が、思ひ出の多い浦瀬航路を、新造サイベリア丸に譲り、小樽樺太航路へ向かう。この航路は、多くの乗客と貨物を運搬する重要なルートである。



面協議員當選者

江原道

【東京二十一日電】面協議員當選者が発表された。江原道では、以下の氏々が當選した。

裸體の狂女が

警察に飛込む

留置場内で狂態の限りを盡し

豚箱の連中大喧嘩

【東京二十一日電】裸體の狂女が、警察に飛込み、留置場内で狂態の限りを盡した。この事件は、豚箱の連中大喧嘩を引き起こした。



勤農家の篤行
数重なる義舉に
感激の頌徳碑建つ

靴の黒穂拔き

長瀬郊外スケッチ

筆年萬ノ十級高

筆年萬級高
ルシンペーヤシ
トツセ用務事
卸造製

優良農機具の百貨店

最新型油動機
最新型ガソリンエンジン
最新型ポンプ
最新型ミシン

梨山名産水産品

水産品
水産品
水産品
水産品

靴の黒穂拔き

長瀬郊外スケッチ

筆年萬ノ十級高

筆年萬級高
ルシンペーヤシ
トツセ用務事
卸造製

優良農機具の百貨店

最新型油動機
最新型ガソリンエンジン
最新型ポンプ
最新型ミシン

梨山名産水産品

水産品
水産品
水産品
水産品

全 國 藥 店

皇進大業



醫學博士 中島精先生著
結婚から
育児まで
婦人一生の顧問醫

育兒まで、
わが産婦人科界の權威醫學博士中島常先生にお願ひ
して、御婦人が赤ちゃんと共に病氣の症狀・病理に
手當方法等を最新の學理に基き平易に
記述して戴いた御家庭になつて
よらない冊子です。

錠劑携帶用小型容器

料の持ち用、小瓶容器を添付遊里いたします。御覧の際にはすこゝの便利で、かつ麗美な品で
 いたします。御本この好機を逸せずお求
 め下されますようお願い申し上げます

に腸強を腸弱

「また腹こはしですか」

胸の弱い人は短命です

賜は人體養養の本源ですから、この病い人は、
 水源の涸れ易い發電所を以つた工場と同様で、あ
 ちらにもこちらにも故障續出し、到底思ふ様な仕
 事は出来ない評判か、早く養養に終るはか
 ありません。

顔色が悪く、頭痛や眩暈がしたり、不眠に悩まされるかと思へば、居眠り詭計してゐたり、始終いら／＼して、気分が變り易く、呼をしても早く寢れて、根氣が續かぬといふ様な人は、必ず臍から悪い人です。結核、神經衰弱、貧血はかういふ人

腸の組織を強める薬

さういふ人は、純正（じゆんせい）ヘーフェ菌から造られた錠劑（じやうざい）「解（は）れかもと」を用ひて御覽なさい。この薬は、在（あ）る來（き）の化學的（けがくてき）な整腸劑（せいぢやうざい）などの様に、薬の力で一時的（てきじき）に下痢（げり）を止めたり、通じをつけたりするのと同じで、腸（ちやう）の粘膜（みく）を組織（そくし）してある細胞（せうぼう）の、いろいろな力（ちから）で、腸能（ちやうのう）のもとなる細胞（せうぼう）エンチームを強めて、腸自身（ちやうみづか）の力で自然（じぜん）に下痢（げり）がとまり、あるひは通じがつかう様になるのです。

下痢も便秘も理窟は一つ

例へば腸カタルを下痢の場合、從來の下痢止めは、腸の運動神經を一時的に麻痺させて、強いて便秘を止めるといふ風であつたのが、「錠劑わかもと」を服むと、腸の組織が強くなつて、蠕動が活潑になる結果、自然に食物の消化、吸収がよくなり、不消化のまゝで排泄される様な事がなくなるのです。

これは便秘の際でも同じ理窟で、從來の下劑の如く、様々に澀や刺戟劑で、無理矢理に押し出さなくとも、腸の働きが活潑になれば、自然に便通はついて來ます。だから飽くまでも生理時であつて、決して習慣になることなく、副作用も絶無であります。

自家中毒を防ぎ血色をよくする

「寝静わかもと」の著しい特長の一つとして、**腸内自淨作用**といつて、**腸内に繁殖して、自家中毒の原因となる、有害な細菌を驅逐し、毒素を吸着する働きを旺にしますから、自家中毒の産物である所の、頭痛や眩暈、不眠、貧血、あるひは皮膚の吹き出物を防いで、血液を清め、常に生々とした血色を保たせます。**

藥價低廉

三百
入
壹圓六十錢

三寶鏡は大人には廿五日量・十歳前後の児童には約四十日量・五歳前後には五十日量・三歳前後には六十日量に當る。

發賣元・東京市芝公園
株式會社 榮養と育兒の會
電話芝(代表)、一七五番・外六本
振替 東京 一七〇〇番

